

◆ 平成30年度 活動報告シート ◆

団体名：彩の国 環境大学修了生の会

21A-06

代表者：代表理事・会長 原 芳彦

URL : sai-syuryosei.eco.coocan.jp/

1. 活動が必要とされた状況

平成30年、彩の国環境大学修了生の会は設立20周年を迎えました。これを機に、修了生の会、及び4部会（地球温暖化防止、化学物質、生活循環資源、自然環境・教育部会）の今までの活動を纏め「20周年記念誌」の発行を企画しました。

さらに、県民の皆様に、修了生の会の活動を認識してもらい、環境の大切さを理解してもらうため、地球規模の環境問題に精通した北野大先生や環境科学国際センター、県環境部等から講師を迎え、20周年記念講演会を企画しました。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) 20周年記念誌発行：A4印刷モノクロ90ページ500部

*内容：取組活動内容と今後の課題を主体に記載、会の20年の歩みも概要記載

(2) 20周年記念講演会 7月14日（土）於 With You さいたま 参加人数 72人

特別講演 化学物質のリスク評価～データ取得と解釈～ 秋草学園短期大学学長 北野大

来賓講演 最近のPM2.5の動向～中国発と国内発 埼玉県環境科学国際センター総長 畠山史郎

埼玉県の環境～20年を振り返る 埼玉県環境部環境政策課課長 矢島謙司

会員講演 彩の国環境大学修了生の会20年の歩み等 新木壽三雄

(3) 20周年記念講演会・懇親会報告書発行：A4印刷カラー16ページ200部

*内容：講演会・懇親会・フォトコンテストを纏めたフォト主体の報告書



写真1：北野先生講演会

3. 活動の成果

(1) 20周年記念誌発行関係

①5月の総会や会主催の行事関係にて会員全てに配布。

取組活動履歴等が纏まりとても好評。

②会員以外の行政及び色々な環境関係者にも認識を頂く。

(2) 7月14日の20周年記念講演会・式典・懇親会関係

③会員だけでなく多くの一般の県民に参加頂く事が出来た。

④講演会や懇親会で様々な分野の人達と意見・情報交換。

(3) 新規会員への入会勧誘とツール・機会

⑤昨年度迄は入会説明に苦戦、今年度は手ごたえ有りそう。

(4) 当会の取組活動内容の認識が以前より格段に知れ渡る



写真2：記念式典講演会

4. 今後に残された課題

・最近では政府の働き方改革の影響も有り、環境ボランティア団体への加入年齢も高まり新会員加入も苦戦中、中々増えない。

働きながら一緒に環境活動出来る仕組み・体制作りが必要。

・地域、特に小中学校への環境学習に役立つ人材育成や現会員のスキル向上及び活動ツール充実を図る必要有り。



写真3：記念式典 懇親会